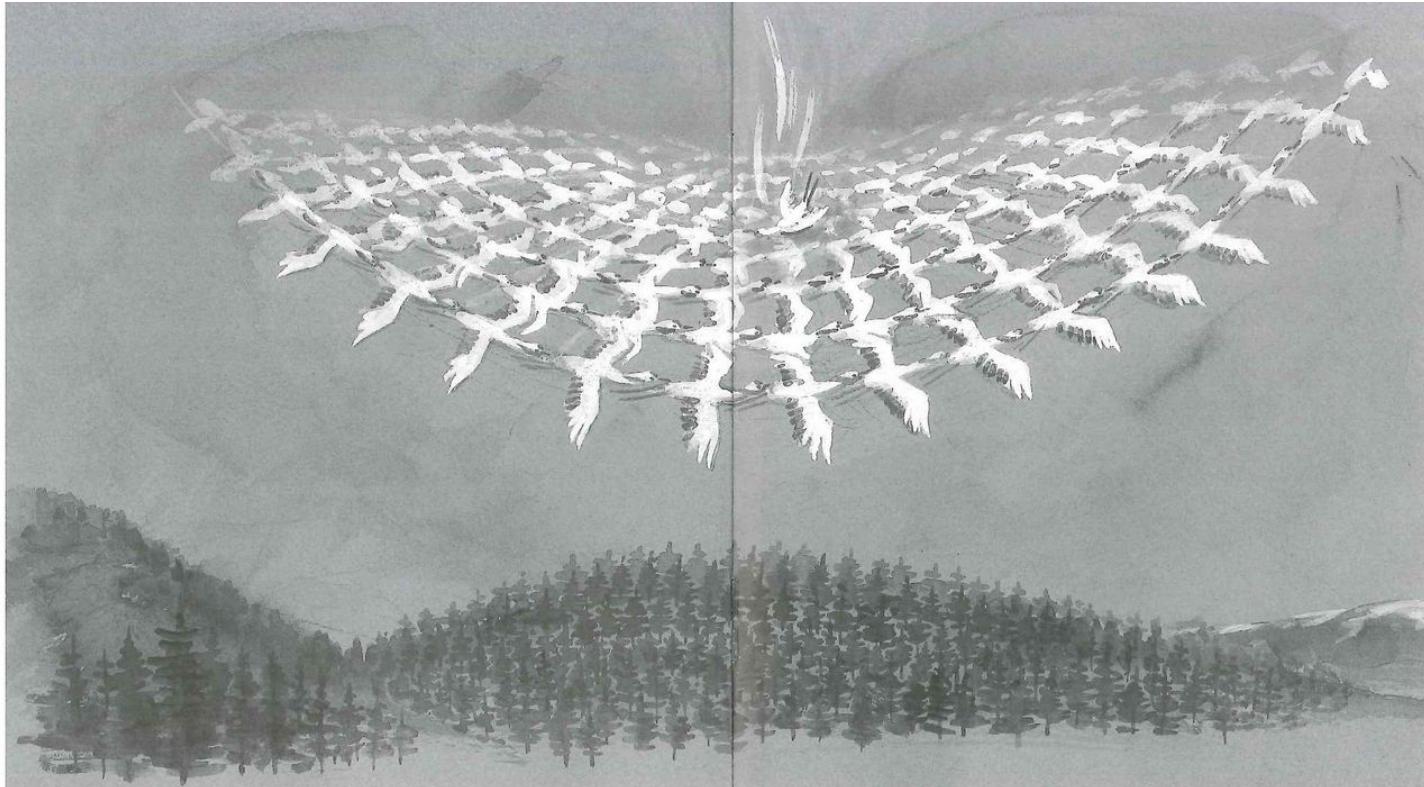


そして、
おちていく子どものツルを、
おいぬくと、
くろぐろとつづく大森林の
ま上あたりで、
九十九羽のツルは、
さつとはねをくんで、
いちまいの白いあみ
となつたのでした。



すばらしい九十九羽のツルの
きよくげいは、みごとに、
あみのうえに、
子どものツルをうけとめると、
そのままそらへ
まいあがりました。